

黒獅子メンバー集結 黒獅子獲得50年

社会人野球の第76回結成記念大会（白老町町制施行70周年記念）が8月24、25日に日本製紙野球場で行われました。今年は大昭和製紙北海道が第45回都市対抗野球大会で優勝してから50周年を迎え、25日の試合前に当時の優勝メンバー15人が出席した記念セレモニーが行われました。

大塩英男町長は「野球は白老のまちに根付いている。これからも野球のまちを盛り上げていきたい」とあいさつ。当時の監督の安藤喜春さんは「強いチームができたのは日本一の練習量。努力したチームが結果を出す」などと述べました。続いて大塩町長らによる始球式もありました。



大会はJR北海道硬式野球クラブが7-3で北海道ガスを下して優勝。WEEDしらおいが準決勝で同クラブに0-3で敗れました。

第75回北海道女性大会

北海道女性団体連絡協議会（野祥子会長）主催の第75回北海道女性大会・胆振管内女性大会が9月7日から2日間、中央公民館などで開催されました。全道から会員約300人が出席。開会式では、野会長が「本大会は『お互いに認め合う地域づくり』をテーマに開催します。人々が互いに尊重し、認め合う地域づくりに尽力してまいります」とあいさつ。大塩英男町長は「全道からお集りの皆さまが、大会を通じて交流し学び合い、ともに未来を築くための貴重な時間を過ごし、女性の力がさらに発揮されることを期待しています」と話しました。

大会実行委員長で白老町婦人団体連絡協議会の吉田和子会長は「心から歓迎と感謝を申し上げます。白老は自然と食材に恵まれています。皆さまに楽しんでいただき、再度白老町へお越しくださることを願っています」と話していました。大会では、アイヌ民族文化財団副理事長・民族共生象徴空間運営本部長の村木美幸氏が「多様性が尊重される共生社会の実現に向けて～ウポポイの活動から考える～」、認可外保育園5 Kan（ゴカン）代表の山崎翔子氏が「白老の暮らしと令和の子育て」と題して講演しました。8日にはウポポイの視察研修も行われました。



「すおう」寄港 一般公開に127人

海上自衛隊の多用途支援艦「すおう」（大湊地方隊所属）が9月2日に白老港に入港、3日に一般公開が行われました。同艦は長さ65m、重量980ト、乗員は40人です。

白老港の寄港は3回目で、今回は港湾調査のために寄港しました。一般公開では127人が訪れ、艦橋や甲板などを見学しました。

艦は4日午前には白老港を離れました。

